

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	e-townうじえ管理事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	01	商業の活性化				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eプラザを拠点とした交流人口の増加</li> <li>・テナント出店による事業者育成（中心市街地への出店に繋がる）</li> </ul>						
事業の概要	eプラザ参番館 1階：多目的施設及び事務所（観光案内）・2階：会議室 eプラザ参番館 テナント（4店舗）への場所の提供・商工会への委託						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	19,255		10,440		11,355	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	インキュベータ施設出店者数	人	3	4	4	4
	成果	中心市街地への出店者数	店舗	1	0	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	駅前への賑わい創出とともに、テナント出店により事業者育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	地場産商品開発普及事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	01	商業の活性化				
事業の目的	地元産小麦を使用した「氏家うどん」を取り扱う飲食店、製麺所ができる。						
事業の概要	氏家うどんの開発普及を推進するため氏家商工会に補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	800		800		800	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	氏家うどん取扱い店の数		13	13	13	13
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	平成28年12月 eプラザ参番館にアンテナショップ設置 平成29年2月 さくらブランド認証					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	さくらブランド認証事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	01	商業の活性化				
事業の目的	さくら市の特産品をブランドとして認証し、情報発信することにより、地域（経済）の活性化を図る。						
事業の概要	市内特産品をさくらブランドとして認証する事業を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	352		537		1,123	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	ブランド認証品目数	件	0	8	5	5
	成果	認証品取り扱い店舗数	店	0	18	23	28
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	初年度の認証品は0品目であったが、28年度は8品目の認証ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	工場等誘致事業		事業開始年度	平成19年度			
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	02	工業の振興				
事業の目的	優良な企業がさくら市内に立地する						
事業の概要	1 企業の規模拡大・移転意向の情報を得る 2 仲介役となり、地権者の協力を促す 3 総合相談窓口となり関係課との調整を図る 4 工場等誘致条例に基づく奨励金の支出						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度	28年度	29年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,971	2,864	4,374			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	工場誘致条例に基づく奨励金対象工場等の数	企業数	0	0	2	2
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	奨励金対象の工場誘致が無かった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	企業誘致推進事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	総務部 企画政策課		担当者	瀧澤喜彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	02	工業の振興				
事業の目的	企業誘致、既存立地企業の操業支援による地域経済活性化。						
事業の概要	企業誘致に関する情報収集及び誘致可能企業への働きかけ、既存立地企業の操業支援。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		2,504		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	誘致企業の数	社		0		
	活動	訪問した企業の数	社		75		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	企業誘致に係る情報収集として15団体を訪問。県内外の動向について情報収集。既存立地企業75社を訪問し、企業の課題を把握、支援を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	中小企業振興資金融資事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	03	中小企業の経営基盤の強化支援				
事業の目的	中小企業の運転・設備資金の融資制度を通して地元中小企業の経営支援を行う目的で制定したさくら市の融資制度。（中小企業者が低利での融資が受けられる）						
事業の概要	市は預託金を栃木県信用保証協会をととして金融機関へ預託する。協調倍率は4倍						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	501,065		501,812		603,100	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	融資枠	千円	2,000,000	2,000,000	2,400,000	2,400,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	低利で長期資金を活用することで、財政基盤が強固でない中小企業者も経営の安定化を図ることができているため成果は上がっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	商工会振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	03	中小企業の経営基盤の強化支援				
事業の目的	商工会の運営を支援し、商工会事業により市内事業所の経営支援が行われている。						
事業の概要	商工業の振興のための事業補助として、経営改善・普及事業及び地域振興事業の50%以内で、市長が定めた額内において氏家商工会・喜連川商工会へ補助する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	19,279		19,262		19,283	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	商工会登録会員の数	人	1,013	996	996	996
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	地域商工業の振興及び地域経済の活性化が図られた。 新規加入者を脱退者が上回っているため、会員数がやや減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	さくら市中小企業融資振興会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	03	中小企業の経営基盤の強化支援				
事業の目的	市内に住所を置く中小企業の資金調達が円滑に行えるとともに、専門家による融資審査がされ、融資の安全性が高まる。						
事業の概要	市の制度融資における制度の見直し及び融資審査事務を行う機関（氏家支部・喜連川支部）に対する補助金。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	200		200		200	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	各支部の保証料補助件数	件	193	183	190	190
	成果	損失補償交付件数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保証料補助件数（前年度193件→今年度183件）と同程度の実績があった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	市中小企業融資保証料補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	03	中小企業の経営基盤の強化支援				
事業の目的	市内中小企業者の資金調達が円滑に行われている。						
事業の概要	さくら市の融資制度活用に伴う県信用保証協会への保証料を全額補助し地元中小企業の経営支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	14,903		11,397		26,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	保証料の額	千円	14,903	11,397	26,000	26,000
	成果	融資実行件数	件	190	184	260	260
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	概ね例年通りの実績。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	中心市街地活性化推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	補助金を活用して、中心市街地に商店が出店し賑わいを創出する。						
事業の概要	○空き店舗活用促進事業費補助金 ①12月分家賃の1/2又は25万円のいずれか少ない額。②改装費の1/2以内又は40万円のいずれか少ない額。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,896		1,378		3,985	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	補助金を活用した出店件数	件	5	2	6	6
	成果	補助金を活用して賑わい創出のべ人数	人	8	10	16	22
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	まちの駅本陣運営事業			事業開始年度	平成16年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	さくら市民並びに観光客が快適に、会議室、トイレを使用する。						
事業の概要	街の駅の会議室等の管理及びトイレの管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,133		2,938		3,584	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	会議室利用回数	回	5	5	5	5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	中心市街地商店街駐車場確保対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	買物客の駐車場が確保されている						
事業の概要	中心市街地商店街の買物客の駐車場を確保する。（地権者へ支払う地代は、市営駐車場利用組合からの負担金で賄われているため、市の費用負担はない。）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	316		313		581	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	年間における駐車場閉鎖日数	日	0	0	0	0
	成果	喜連川支所周辺の駐車場整備状況への満足度	%				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	商業まちづくり団体育成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	商業まちづくり団体の活動が活発に行われている。						
事業の概要	商業の活性化を目的に活動している団体への補助金。 (1) 21商業街づくり委員会 (2) スリーバードマーケット実行委員会						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	422		422		422	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	商業まちづくり団体が主催する事業の数	件	15	14	14	14
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	(1) 21商業街づくり委員会 中心市街地の活性化を目的としたイベント開催（とうみぎ観音、いもぐし観音事業等） (2) スリーバードマーケット実行委員会					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	商店街街路灯電気料補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	総務部 総務課		担当者	岡田 慎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	商店街街路灯を維持することで商店会地域の防犯・安全を確保する。						
事業の概要	市が中心市街地活性化を推進するために設置した街路灯で、商店会で支払っている電気料（定額）の半額の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,699		2,158		1,339	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	電気料補助額	円	2,698,260	2,158,000	1,339,000	1,339,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	商店会に確認した上での助成であるため					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	草川水と緑の散歩道街路灯電気料補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	総務部 総務課		担当者	岡田 慎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	水と緑の散歩道の街路灯を維持するため電気料の1/2を補助することで地域の負担を軽減し、地域住民の防犯、安全を確保する。						
事業の概要	市がまちづくりの一環として設置した街路灯で、行政区で支払っている電気料の半額の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	243		194		247	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	電気料補助額	円	242,130	194,000	194,000	194,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	行政区に確認した上での助成である					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	駅広場改修事業			事業開始年度	平成23年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	轡田親志			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	氏家駅のターミナル機能の強化、さくら市の顔としての整備、市民のための広場として整備を行う。						
事業の概要	修繕・改修工事						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,947		631		1,238	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	修繕・改修された施設数	件	1	2	2	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	利用者の安全性と利便性が向上した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	わいわい広場管理運営事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	喜連川商店街の賑い創出。						
事業の概要	空き店舗となっているJA旧喜連川支所（現和い話い広場）の活用を図り、喜連川商店街の賑わいを創出する。和い話い広場管理運営事業業務委託先（喜連川商工会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,443		11,103		11,511	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	喜連川商店街の数	件	350	338	330	330
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	喜連川地区観光商業施設利用促進事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	歴史的建造物である当該施設を維持管理し、道の駅やお丸山公園などを含んだ周遊ルートを作成。喜連川市街地の活性化を図る。						
事業の概要	喜連川地区観光商業施設の整備及び管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,476		4,660		10,497	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	来館者数	人	0	2,689	1000	1,100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内の関係団体にワークショップ等にて無料で利用してもらっているため、多くの市民に来館いただけた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	中心市街地内街路灯のLED化事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	山田知明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	電気料の負担が減少する						
事業の概要	省エネルギーと温室効果ガス排出規制を図るために中心市街地街路灯のLED化実施する。電気料は市と行政区等で折半						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		25,877		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	中心市街地の行政区電気負担料	千円		2,158		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市と行政区で折半している電気料が削減され、温室効果ガス抑制が図られた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	駅前交流拠点整備事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	加藤輝久		
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	04	まちなかのにぎわい創出				
事業の目的	さくら市玄関口である氏家駅前に交流拠点を設置し、さくら市全体のPRを促進する。						
事業の概要	氏家駅前に交流拠点施設を整備する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	施設利用者	人		0	0	20,000
	成果	観光入れ込み客数	人		711,756	887,000	1,002,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	実施設計業務の発注を行う					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	ワークライフバランス向上事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	05	雇用環境の充実				
事業の目的	家族で余暇を農作業で過ごすことで心身ともに健康になる。						
事業の概要	特定農地貸付法の手続きを行い、農地を市を通じ商工会が借り受け運営している市民農園に対する補助金の交付事務						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	900		900		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	市民農園契約区画数	区画	44	23		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	44区画中23区画利用 ※民間の市民農園等が開設され当初の目的が達成されたことにより、平成28年度をもって閉園となった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	市雇用促進協会育成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	05	雇用環境の充実				
事業の目的	市民の雇用が促進される。企業の労働力が確保される。 会員企業従業員のスキルが高まり、企業力が向上する。						
事業の概要	市雇用促進協会への補助金						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	700		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	年間のべ求人数	人	459	0		
		会員企業の従業員向け研修会の開催回数	回	2	0		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	雇用促進協会が解散となった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	○拡大 ○現状 ●縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	企業振興協議会			事業開始年度	平成28年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	05	雇用環境の充実				
事業の目的	人材の確保、共通する課題の対策に取り組むことで市内企業を支援し、地域経済の活性を図る。						
事業の概要	市企業振興協議会への補助金						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		850		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	企業振興協議会会員数	人		0	82	90
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内企業の雇用の確保、共通する課題に取り組み、地域経済の活性化を図るための組織として、平成28年12月にさくら市企業振興協議会を設立した。 初年度は事業期間がなくアンケート実施及び会員募集のみの実施。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	砂利採石監視対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的							
事業の概要	砂利採取の際、県の基準が適正に遵守されているか監視業務にあたる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,052		1,049		1,057	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	勤労者住宅資金融資事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	勤労者世帯の住宅建設資金調達の円滑化が図られる。						
事業の概要	勤労者が住宅を取得する際の資金を円滑に調達できるように制定したさくらの融資制度。市は矢板地区労働金庫へ融資原資を預託する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,500		1,300		1,100	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	預託金の額	円	1,500	1,300	1,100	1000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	バイオマス燃料活用再生可能エネルギー推進事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	加藤輝久			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	さくら市地球温暖化対策実行計画において、再生可能エネルギーの導入が明記しており、二酸化炭素排出抑制を図る						
事業の概要	もとゆ温泉に二酸化炭素を排出しない草本系ペレット（エリアンサス）を使用したバイオマスボイラーを設置する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		9,872		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	灯油の使用量	ℓ		102,345	0	30,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	順調にボイラーが稼働していることから、今後、燃料使用量のデータ収集を行う。データ収集後、既存灯油ボイラーとの高効率化による併用を検討する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		